

平成28年度は、専門部長として、多久高校の蒲原正憲校長先生が2年目になり、末次広人(佐賀工)、樋口義朗(多久)、宮川淳(唐津東)の3人の先生方に、新たに江原一興(鳥栖工)を専門委員とし、武末良樹(鳥栖工)が専門委員長として各大会を実施することになりました。

今年度開催された大会を、時間を追って紹介します。高体連関係では、6月の県総体において九千部山・脊振山山系で予定通りに行われました。7月の九州大会においては、鹿児島県の霧島山系で開催され、8月の全国大会では、岡山県の蒜山山系で開催されました。山岳連盟関係では、4月に国体県予選、5月に九州ブロックジュニア選手権、7月には宮崎での国体九州ブロック予選、10月に岩手県での国民体育大会、11月には、黒髪山山系での新人大会、12月には第7回全国高校選抜クライミング選手権が例年通り埼玉県加須市で開催されました。

以下、報告をいたします。

平成28年度国民体育大会佐賀県予選

- ・期 日 4月16日(土)
- ・会 場 多久市
多久高等学校
- ・参加校 (男子) 佐賀工 多久高 鳥栖工
神埼清明 佐賀北 星生学園
(女子) 多久高
- ・参加者 男子37名 女子2名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

今年は、小学生時代からクライミングをしてきた選手たちがいよいよ高校生になり、男子は6校37名の参加で楽しみな大会となりましたが、女子が1校2名のさびしい参加となりました。

男子については、昨年中学生で国体に出場した齋本直生(多久高1年)くんをはじめ、同世代の選手たちが高校生になり、今まで選手を多く輩出してきた佐賀工業と競い合う楽しみな大会でした。リードでは齋本くん和小島麟太郎(基里中3年)くんが完登し、ボルダリングでは20本の課題のうち、齋本くんが19本で1位をとり、小島くんが18本で2位となりました。3位には、昨年の選抜大会に出場した中武凌雅(星生学園2年)くんが入り、4位以降も新しい選手が名前を連ねました。

女子については、高校生2名の参加で、さびしい大会となりましたが、昨年まで3年連続で国体に出場した岸

川弓子(多久高3年)さん、渡島奈緒(多久高3年)さんにスーパー中学生である樋口結花(東部中3年)さんの三つ巴の大会となりました。中学生ながら実力がある樋口さんがリードで完登、ボルダリングでも20本中19本をクリアし、1位となり、岸川さんも善戦したが2位となり、3位に渡島さんがなりました。結果、男子は優勝の齋本くんと彼に追従した小島くん、女子は優勝の樋口さん、2位に入った岸川さんを佐賀県代表として選出し、国体九州ブロックの代表選手としました。

成績

- 男子 1位 齋本 直生(多久高1年)
リード1位(完登) ボルダリング 19/20本
- 2位 小島 麟太郎(基里中3年)
リード1位(完登) ボルダリング 18/20本
- 3位 中武 凌雅(星生学園2年)
リード3位(44P) ボルダリング 16/20本
- 女子 1位 樋口 結花(東部中3年)
リード1位(完登) ボルダリング 19/20本
- 2位 岸川 弓子(多久高3年)
リード2位(44P) ボルダリング 18/20本
- 3位 渡島 奈緒(多久高3年)
リード3位(30P) ボルダリング 16/20本

第16回九州ブロックスポーツクライミング選手権

- ・期 日 5月22日(日)
- ・会 場 竹田市
竹田高等学校
- ・参加校 (男子) 佐賀 長崎 大分 宮崎
鹿児島
(女子) 福岡 佐賀 長崎 熊本
大分 宮崎 鹿児島
- ・参加者 男子34名 女子17名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

毎年、九州各県で持ち回りでの開催で、高校生だけでなく小中学生も参加できる九州では比較的大きな大会で、今年は大分県で行われました。男子は、佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島から、女子は沖縄を除く7県かから参加し、高校生だけでも男子34名、女子17名の参加となりました。

男女とも予選を2本行い、そのうち男子8名、女子9名が決勝に進みました。男子は4月の国体県予選から上

位10名が参加しました。昨年のこの大会で中学生ながら総合チャンピオンとなった鶴本直生(多久高1年)くんが予選で惜しくも2位となりましたが、中武凌雅(星生学園2年)君とともに決勝進出を果たしました。決勝では、鶴本くんが、2位以下の3人の選手が苦戦したポイントをあっさりと越え、逆転で1位となり、2年連続で総合チャンピオンに輝きました。中武くんは予選を6位で通過するも、決勝の壁に阻まれ、順位を一つ落とし、7位となりました。女子は、国体選手となった岸川弓子(多久高3年)さんが、県予選後に故障し、渡島奈緒(多久高3年)さんが佐賀県高校代表として参加しました。2本とも3位の登りで、力を発揮し、決勝でも同点3位と健闘しましたが、予選の成績の差で惜しくも4位となりました。

成績(高校の部)

男子 鶴本 直生(多久高1年)

Bルート TOP 1位/34人

Cルート 43 2位/34人 予選2位

決勝 37+ 1位/8人

中武 凌雅(星生学園2年)

Bルート TOP 1位/34人

Cルート 35 7位/34人 予選6位

決勝 21 7位/8人

女子 渡島 奈緒(多久高3年)

Aルート 47 1位/17人

Dルート 37+ 3位/17人 予選4位

決勝 23+ 4位/9人

県高校総体

- ・期 日 6月3日(金)～5日(日) (2泊3日)
- ・会 場 鳥栖市 中原町 吉野ヶ里町 神埼市
九千部山・脊振山山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工
多久高 唐津東 佐賀北 (6校)
(女子) 佐賀北 多久高 唐津東 (3校)
- ・参加者 男子53名 女子12名
- ・コース 1日 鳥栖市民の森駐車場 [開会式]
鳥栖市民の森入口(特区S)－縦走競技
(特区間)－九千部山(ゴール)＝鳥栖市民の森幕営地 [幕営]
- 2日 鳥栖市民の森幕営地＝筑紫神社前広場
－九州自然歩道出合－山領境峠－七曲
峠－坂本峠－永山峠－蛤水道－広域林

道出合＝脊振山麓習遊館 [幕営]

女子は九千部山頂まで車で移動

3日 脊振山麓習遊館＝脊振山登山口－脊振山キャンプ場－矢筈峠－椎原峠－椎原峠西分岐－椎原峠西下四叉路＝脊振山麓習遊館 [閉会式]

6月3日(金)10時、鳥栖市民の森駐車場で開会式を行い、式後に全員によるペーパーテスト(登山知識について)を行いました。昼食後、特区スタート地点である鳥栖市民の森入口から九千部山頂まで特区間(チームによるタイムレース)を実施し、山頂から顧問が運転する車で幕営地まで移動しました。天候は晴れで、男子は佐賀工A、Bチームが抜群の体力を示し、2位以下を10分以上大きく引き離しました。女子は唐津東がトップでゴールしました。幕営地に戻り、装備審査、各校代表による気象審査(天気図作成)・医療審査(ペーパーテストと医薬品装備審査)、幕営審査、炊事審査が行われ、夜9時には消灯となりました。

4日(土)は、5時に起床し、6時30分集合し、鳥栖市民の森幕営地から、男女分かれて縦走スタート地点に向かいました。男子は、顧問の車で筑紫神社前広場に向かい、女子は、体力を考慮して、九千部山頂に向かいました。男子のスタート地点である筑紫神社前広場からのコースは、以前総体で特区間に使用していた登山コースで、そこから縦走し、九千部山頂手前の九州自然歩道に到着すると、山頂へ向かわず、西方向である坂本峠に向かう九州自然歩道を縦走するコースでした。ブナ林の中を縦走し、坂本峠に到着するとそこで昼食休憩となりました。女子は、九千部山頂からスタートし、5分ぐらいで男子が登ってきた登山ルートとの分岐と出会い、男子と同様のコースを縦走しました。坂本峠から、永山峠を経て、江戸時代に成富兵庫茂安が構築した蛤水道を通り、蛤岳に登った後、広域林道まで下山しました。コースの途中では、読図審査(現在地が地図上でどの位置にあるかの確認)、審査員による登りでの体力審査、下りでの歩行審査を実施しました。女子隊が先に下りてきたので、装備審査を行い、続いて男子隊も同様の審査を行いました。その後顧問の車で脊振山麓習遊館中に向かいましたが、3年前の大会でも雨で習遊館での審査が思うようにはできませんでしたが、この日も雨で、屋外での審査はできず、テントを建てることもできず、館内で調理を行い、狭いながらも館内での就寝となりました。

5日(日)も、5時に起床し、6時30分に集合し、脊振山麓習遊館を7時前に出発し、19総体で使用した脊振山登山口に車で向かい、そこから縦走競技のスタートとなりました。天候は曇りで、脊振山をめざし、脊振山から椎原峠まで縦走しました。昨日と同様、読図審査、体力審査、歩行審査を行い、脊振山麓周遊館に車で戻り、閉会式を行いました。

男子は、特区で引き離された鳥栖工業にさらに差をつけ、大差で、佐賀工業が5年連続の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を、2位は鳥栖工業で九州総体の切符を手に入れました。女子は、4人そろったチームが2校でどちらも若い陣容(2チーム8人のうち、1年生が7人)で競い合いましたが、全国大会を知る2年生がいた唐津東が三養基をかわし、3年連続の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を手に入れました。

成績

男子	1位	佐賀工	92.135点	(九州・全国大会出場)
	2位	鳥栖工	75.445点	(九州大会出場)
	3位	唐津東	68.450点	
女子	1位	唐津東	75.135点	(九州・全国大会出場)
	2位	三養基	61.435点	

第59回全九州高等学校登山競技大会

・期 日 7月8日(金)～11日(月)(3泊4日)

・会 場 鹿児島県 きりしま山系

・参加校 男子A隊 7校

男子B隊 7校

女子C隊 7校

・出場校の選手・監督

男子A隊 佐賀工：中尾 洸太郎 糸山 裕太

長家 弘汰 神田 章汰

監督：末次 広人

男子B隊 鳥栖工：生野 裕大 木下 誠也

酒井 達慎 森 祐太

監督：江原 一興

女子C隊 唐津東：山下 佳奈 森 冴華

松尾 綾美 小西 伶奈

監督：宮川 淳

・コース

7/8 開会式(霧島自然ふれあいセンター)

霧島自然ふれあいセンター(泊)

7/9 霧島自然ふれあいセンター(雨天待機)＝
えびのエコミュージアムセンター－不動
池－白鳥山－えびのエコミュージアムセ
ンター[隊行動]＝霧島自然ふれあいセン
ター(泊)

7/10 青年の家＝霧島神宮－高千穂瓦[隊行動]
(雨天中止)＝霧島観光ホテル(泊)

7/11 閉会式(霧島観光ホテル)

8日 監督リーダー会議後に開会式があり、その後、自然観察、天気図作成、医療審査、気象知識のペーパーテストが行われ、設営審査・炊事審査が行われました。

9日 登山行動1日目、朝から雨が止まず、雷が鳴っていたため、ふれあいセンターで待機することになり、山中で行うはずの装備審査を行い、雨がおさまることを願っていました。昼前に雨脚が弱くなってきたので、白鳥山周辺の池めぐりをするなかで、審査をすることになりました。この池めぐりは、ハイキング程度のコースであり、体力・歩行もほぼできず、読図審査を中心に行いました。約2時間程度の山行で、ふれあいセンターにもどり、体育館での就寝となりました。

10日 登山行動2日目、天候は思わしくなく、霧島神宮から高千穂河原までの樹林帯を縦走することになったが、雨はやむこともなく、その間、体力・歩行・読図審査を行い、高千穂河原でしばらく待機していたが、雨脚は衰えることなく高千穂峰までのチーム行動もあきらめ、審査終了となりました。バスで宿舎である霧島観光ホテルに向かい、旅館での風呂・布団・食事となり、今までの疲れを十分に癒やせました。この時期は、梅雨の中での山行となり、満足な登山行動ができないのが残念でした。

11日 10時から、霧島観光ホテルで閉会式となりました。天候が悪く、十分な審査ができませんでしたが、男子は、長崎北陽台高校が98.5点で優勝しました。佐賀工が94.7点で3位、鳥栖工が93.0点で6位と健闘しました。女子は、大村高校が97.7点で優勝しました。唐津東は、若いチームで経験不足もあり、83.9点で7位となりました。

成績

男子 3位 佐賀工 94.7点

6位 鳥栖工 93.0点

女子 7位 唐津東 83.9点

平成28年度国民体育大会九州ブロック予選

- ・期 日 7月15日(金)～17日(日) (2泊3日)
- ・会 場 宮崎県 県体育館クライミングウォール
ボルダリングスペースQ-block
- ・参加県 少年男子 8県
少年女子 8県
- ・出場校の選手・監督
少年男子 鶴本 直生(多久高1年)
小島麟太郎(基里中3年)
監督: 武末 良樹(鳥栖工)
少年女子 岸川 弓子(多久高3年)
樋口 結花(東部中3年)
監督: 樋口 義朗(多久高)
- ・コース
7/15 監督リーダー会議・開始式
(県体育館)
7/16 ボルダリング競技
7/17 リード競技・表彰式

今年は、昨年、国体で活躍した鶴本直生(多久高1年)くんが高校生になり、小島麟太郎(基里中3年)くんとペアを組み、国体出場を目指しました。少年女子は、3年連続で国体に出場している岸川弓子(多久高3年)さんと小学生時代から活躍している樋口結花(東部中3年)とペアを組み国体出場を目指しました。監督リーダー会議後、開始式が行われ、翌日からの競技に備えました。

16日 都城市に移動し、九州ブロックで初めて民間ジムを借りきって、ボルダリング競技が行われました。男女とも、3位までが国体に出場できるのですが、男子は例年になく若いチームで、まだ成長過程もあって、身体的に厳しい課題が設定され、鶴本くんが個人4位と健闘しましたが、小島くんが11位と伸び悩み、福岡県・鹿児島県に次いで団体3位と、少し厳しいスタートとなり、リードを得意としている選手たちに明日挽回を誓わせました。女子は、樋口さんがすべての課題を1撃でクリアし、個人1位となりましたが、県予選後のケガから復帰したばかりの岸川さんは、無理をせず、できる課題だけアタックし、個人5位をとり、長崎県に次いで団体2位をとりました。

17日 宮崎市に戻り、リード競技が行われました。男子は、リードを得意としている2人が緊張感なく、安定した登りをみせ、鶴本くんが福岡県のエースとともに

完登し、1位を分け合い、小島くんも宮崎県の選手と同高度の5位、福岡県のもう一人が8位となったため、団体1位をとりました。女子は、樋口さんが長崎県のエースと完登で1位を分け合い、岸川さんも長崎県のもう一人と同高度まで登り、5位となり、両県とも成績は同じでしたが、残り時間の差で、団体2位となりました。

結果、男子は福岡県に次いで、女子は長崎県に次いで2位を確保し、国体出場を決めました。少年男子は、3年連続、少年女子は4年連続で10月に岩手で行われる国体に進みました。

成績

- 少年男子 鶴本 直生(多久高1年)
ボルダリング 4位 リード 1位
小島麟太郎(基里中3年)
ボルダリング 11位 リード 5位
総合2位(国体出場)
- 少年女子 岸川 弓子(多久高3年)
ボルダリング 5位 リード 5位
樋口 結花(東部中3年)
ボルダリング 1位 リード 1位
総合2位(国体出場)

第60回全国高等学校登山競技大会

- ・期 日 8月6日(土)～10日(水) (4泊5日)
- ・会 場 岡山県 朝鍋鷲ヶ山・毛無山一帯
蒜山一帯
- ・参加校 男子A隊 47校(沖縄県除く・開催県2校)
女子B隊 46校(愛媛県・沖縄県除く
・開催県2校)
- ・出場校の選手・監督
男子A隊 佐賀工: 中尾洸太郎 糸山 裕太
柿原 健太 長家 弘汰
監督: 末次 広人
女子B隊 佐賀北: 山下 佳奈 森 冴華
中嶋 まい 小西 伶奈
監督: 宮川 淳

・コース

- 8/6 開会式(勝山文化センター)
蒜山高原スポーツ公園(泊)
- 8/7 (男女)幕营地=林道川上2号線市口～
朝鍋鷲ヶ山登山口スタート広場-朝鍋山登

山口ー朝鍋鷲ヶ山ー金ヶ谷山ー金ヶ谷コース・山の駅分岐ー白鳥山ー毛無山ー毛無山幕営地＝幕営理(泊) [チーム行動]

8/9 (男女)幕営地＝道の駅蒜山高原～八束自然牧場公園ー中蒜山登山口ー9合目分岐ー中蒜山ー上蒜山分岐ー百合原牧場ー蒜山高原キャンプ場＝幕営理巻甲高原キャンプ場(泊) [チーム行動]

8/9 (男女)幕営地ー下蒜山登山口ー下蒜山ー9合目分岐ー中蒜山登山口＝各宿舎(泊) [チーム行動]

8/10 閉会式 (勝山文化センター)

5日 12:30～専門委員長会議

15:30～監督リーダー会議

今年は、B級グルメでも有名な蒜山山系を擁する岡山県を舞台に全国大会があり、専門委員長として参加しました。湯原ふれあいセンターで専門委員長会議に出席し、宿に行き、翌日からの登山行動に備えました。

6日 勝山文化センターで10時より開会式が行われました。登山隊編成後、天気図審査が同センター会議室で、自然観察、救急知識、気象知識テストは勝山高校の教室で行われました。各隊でコース隊が編成され、バスで幕営地に移動後、設営審査・炊事審査が行われました。

7日 登山行動1日目で、天候は晴れで猛暑の中での行動でした。男女とも林道川上2号線市口にバスで向かい、朝鍋鷲ヶ山登山口スタート広場からチーム行動で朝鍋鷲ヶ山・毛無山へ縦走していくコースでした。猛暑で、台風の影響で風があるなか、男女とも懸命にチェックポイントを目指し、ゴールである毛無山幕営地に向かっていました。専門委員長たちは、大会コースとは違うコースから縦走路に入り、金ヶ谷山手前で選手たちを応援・激励しました。佐賀県チームは男女とも、元気に歩いていて、応援に答えてくれました。

8日 登山行動2日目で、道の駅蒜山高原までバスで向かい、八束自然牧場公園から中蒜山に登り、上蒜山分岐、百合原牧場を経て蒜山高原キャンプ場黒谷までのチーム行動で隊行動でした。この日も男子が先行する形をとりました。下見で唐津東と歩いたときは、9合目分岐まで長い登りが続き、下見時に体調を崩し、歩かなかった選手もいて、心配なコースでした。専門委員長たちは逆走で上蒜山分岐に登り、そのあたりで選手が来るのを

待っていました。中蒜山でチェックされた選手たちが、続々と上蒜山分岐に来はじめ、佐賀工が現れました。若干疲れもあるようでしたが、休憩をとり、元気な姿でゴールを目指して下りていきました。しばらくすると女子の姿も見erようになっていましたが、唐津東がいつまでたっても来ませんでした。その後、中蒜山に登る途中でいくつかの学校がリタイヤしたとの連絡が入り、唐津東もその中に入っていました。昨年、全国に行った2年生のリーダーが軽い熱中症になっらしいが、責任感が強い選手で、全国が初めての3人の1年生部員を激励していたのだらうと思い、下見でのきつさを思い出しました。全員が通過後、選手たちはコース外であることから、行くことができない上蒜山にも行きました。

9日 登山行動最終日は、男女とも幕営地からスタートし下蒜山登山口までアスファルトを歩き、そこから登山道に入り、下蒜山に登り、昨日登った9合目分岐から下って中蒜山登山口コースでした。専門委員長は昨日選手たち登ったきつい登りを苦労して登り、どうにか9合目分岐にたどり着き、選手たちを待ちました。しばらくすると雨が落ち始め、男子が通過するときには、雨の中での縦走となったが、男女とも最終日だけあって元気に下っていきました。専門委員長の数人で、彼らが登ってきたコースを逆走したが、先の雨でぬかるんだ縦走路を選手たちは通ったことに感心しながら下蒜山に登頂し、登山口から宿に向かいました。

今年の大会は、3日間が全コースでチーム行動が採用され、途中のチェックポイントで全選手を確認し、体調が思わしくなく、制限時間に間に合わない判断されたときはその日の行動を離脱する方式で、今後の大会運営に一石を投じた大会となりました。

10日 10:00閉会式

A隊の優勝は、千葉県の千葉東高校で98.9点でした。九州勢は、長崎北陽台の4位が最高で、一けた台を狙った佐賀工が96.7点と昨年を上回る健闘で、14位となりました。B隊の優勝は、静岡県の富士高校で98.9点でした。九州勢は大村高校の4位が最高で、唐津東は二日目の離脱もあり、60.9点で、昨年と同じ35位となりました。

成績

男子	14位	佐賀工業	96.7点
女子	35位	佐賀北	60.9点

平成28年度国民体育大会

- ・期 日 10月6日(木)～9日(日) (3泊4日)
- ・会 場 岩手県 岩手運動公園
登はん競技場 (リード)
山岳競技特設会場 (ボルダリング)
- ・参加県 少年男子20県
少年女子16県
- ・出場校の選手・監督
少年男子 靄本 直生(多久高1年)
小島麟太郎(基里中3年)
監督: 武末 良樹(鳥栖工)
少年女子 岸川 弓子(多久高2年)
樋口 結花(東部中3年)
監督: 樋口 義朗(多久高)

・コース

- 10/6 監督会議
(岩手県勤労身体障がい者体育館)
- 10/7 少年男子 リード予選
リード決勝
少年女子 リード予選
- 10/8 少年男子 ボルダリング予選
少年女子 ボルダリング予選
- 10/9 少年男子 ボルダリング決勝
少年女子 リード決勝
ボルダリング決勝

今年は、少年男子は3年連続、少年女子は4年連続の国体となりました。少年男子は今年から高校生となった2年連続出場の靄本直生(多久高1年)さんと国体初出場の小島麟太郎(基里中1年)くんのペア、少年女子は4年連続出場今年が少年女子最後となる岸川弓子(多久高3年)さんと小学生時代から実力がある国体初出場の樋口結花(東部中3年)さんのペアが出場しました。

7日 少年男子は、地元岩手県をはじめ全国の名だたるクライマーたちが集う20組が、午前中のリード予選が挑みました。先の世界大会で活躍した靄本くんにしては、彼らしくない登りで、個人9位と伸び悩み、初出場の小島くんも緊張からか、個人20位と出遅れ、監督が思う順位には届かず、予選8位でどうにか決勝進出を果たしました。午後の決勝でも、二人とも思ったより順位が伸びず、どうにか7位に滑り込みました。少年女子は、18組36人中、5人が完登し、その中に初出場の樋口

さんが入り、同点ながら個人1位と実力を発揮し、岸川さんも故障を感じさせず、懸命に登り、個人21位となり、予選5位で決勝へ進出しました。

8日 少年男子はこの日の予選を通らなければ、最終日(9日)の試合は、悔しい観戦にとどまるのですが、まだ成長期である靄本くんや小島くんには、厳しい課題が続き、懸命にアタックするも、総合10位で、決勝に進めませんでした。少年女子は、上位者が8本のうち5本完登していくなか、樋口さんはなかなかクリアできず、岸川さんも懸命にトライを重ねるが、予選9位と決勝進出を逃がしました。

9日 少年男子は悔しい観戦日となり、少年女子や成年男子の応援に回りました。少年女子は樋口さんが得意のリードで個人2位をマークし、岸川さんも健闘し、順位を一つ上げ、4位となりました。しかし、成年男子も含め、ボルダリングで決勝に行けなかったのが、残念で、ボルダリング施設の建設が早急に望まれます。

成績

- 少年男子 靄本 直生(多久高1年)
小島麟太郎(基里中3年)
リード予選 8位 決勝 7位
ボルダリング予選 10位
- 少年女子 岸川 弓子(多久高3年)
樋口 結花(東部中3年)
リード予選 5位 決勝 4位
ボルダリング予選 9

第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

佐賀県予選会

- ・期 日 10月30日(日)
- ・会 場 多久市
多久高校クライミングウォール
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 佐賀工 佐賀北 多久
神埼清明 星生学園(4校)
(女子) 多久(1校)
- ・参加者 男子35名 女子2名 計37名
- ・カテゴリー エキスパート リード1ルート
ミドル リード1ルート

全国高体連共催になっている第7回全国高校生選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねているため、男女合わせて3年生が3名参加し、総勢37名で、大会が行われ

ました。予定通り全国大会につながるエキスパートクラスと、競技を浸透させるためのミドルクラスを開催しました。エキスパートクラスには、男子は、国体参加の鶴本直生(多久高1年)くんや第6回全国選抜に出場した中武凌雅(星生学園2年)に加え、日ごろから積極的に練習している佐賀工業、佐賀北、神埼清明の選手が参加し、女子は国体に出場した岸川弓子(多久高3年)さんに、渡島奈緒(多久高3年)さんの2人だけの参加で、ミドルクラスには、佐賀工業・多久・鳥栖工業の男子選手が出場しました。エキスパートクラスでは、鶴本くんと中武くんが完登し、スーパーファイナルを行い、それでも同高度のため、タイム差で鶴本くんが優勝し、2位に中武くん、3位には中園龍成(佐賀工1年)くんが入りました。ミドルクラスでは、村上喬一郎(佐賀工1年)くんが優勝しました。女子については、国体選手の岸川さんが完登し、2位には渡島さんが入りました。結果、男子は、鶴本くんが日山協推薦で、2位・3位になった中武くん・中園くんが県推薦で、チーム枠として6位に入った伊東蒼史(佐賀工2年)くんが、女子は岸川さんが日山協推薦で、2位になった渡島さんが、それぞれ12月に行われる全国大会の切符を手に入れました。

成績

男子	E 1位	鶴本 直生(多久高1年)
	E 2位	中武 凌雅(星生学園2年)
	E 3位	中園 龍成(佐賀工1年)
	E 4位	中武 悠馬(神埼清明3年)
	E 5位	森田 優真(佐賀北1年)
	E 6位	伊東 蒼史(佐賀工2年)
	M 1位	村上 喬一郎(佐賀工1年)
	M 2位	荒谷 響(多久高1年)
	M 3位	田村 優真(鳥栖工1年)
女子	1位	岸川 弓子(多久高3年)
	2位	渡島 奈緒(多久高3年)

新人大会

- ・期 日 11月12日(土)・13日(日) (1泊2日)
- ・会 場 武雄市・伊万里市・有田町
黒髪山・青螺山山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工
唐津東 多久 (5校)
(女子) 唐津東 三養基 (2校)
- ・参加者 男子41名 女子7名 計48名

- ・コース 12日 岸岳ふれあい館[開会式]
縦走競技：いこいの広場－見返峠－黒髪山－蛇焼山－二俣－見返峠－いこいの広場
ペーパーテスト、医療審査、天気図審査
炊事審査等 (いこいの広場) [幕営]
- 13日 縦走競技：いこいの広場＝有田ダム
南登山口－前黒髪－西光密寺－見返峠－青螺山－竜門ダム
竜門ダム[閉会式]

12日 この山系は3年前の新人大会で開催しましたが、雨にたたられましたが、久しぶりに天候がいい中での開会式となりました。武雄市山内町のいこいの広場に集合し、開会式後に、ペーパーテストを行い、昼食後、登山行動がスタートしました。見返峠、黒髪山と縦走し、黒髪山で休憩中、山頂からすぐに行ける天童岩を訪れ、蛇焼山、鬼の岩屋、二俣、見返峠を経ていこいの広場に戻る周回コースで、途中、体力・歩行・読図審査を行いました。いこいの広場に到着後、装備審査を行い、天気図審査、医療テスト、設営・炊事審査を行い、就寝となりました。

13日 有田ダム南登山口に向かい、縦走が始まりました。審査員が体力・歩行審査・読図審査も行いながら、前黒髪を経て、西光密寺に到着し、そこで装備審査を行いました。途中、岩場の登るところがあり、慎重に登っていました。再び縦走が始まり、見返峠を経て、登りのきつい青螺山にアタックし、竜門ダムへ向かいました。竜門ダムで審査内容をすべて入力し、閉会式を迎えました。男子では、佐賀工Aが89.75点で優勝となったが、最近の大会より悪い方の成績でした。女子は、全国大会を経験した唐津東が3連覇を成し遂げました。男女とも、全体的に登山技術・知識が今一つでしたのでどの学校も、冬場のレベルアップに期待したい。

総合成績

男子	1位	佐賀工A	89.75点
	2位	唐津東	84.33点
	3位	佐賀工C	83.20点
女子	1位	唐津東	82.95点
	2位	三養基	69.85点

第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

- ・期 日 12月24日(土)・25日(日)

- ・会 場 埼玉県加須市
加須市民体育館
- ・参 加 校 (男子) 佐賀工 多久 星生学園
(女子) 多久
- ・参 加 者 男子4名 女子2名
- ・カテゴリー 高校生男子左右2ルート
高校生女子左右2ルート

高体連共催になり、10月のクライミング選手権の成績をもとに、佐賀県から男女6名の選手が参加しました。

男子は、国体に出場している靄本直生(多久高1年)くんに期待したが、本来の力が発揮されず、予選は8位でクリアしたものの、準決勝10位で敗退し、昨年この大会に出場した中武凌雅(星生学園2年)くん、初出場の中園龍成(佐賀工1年)・伊東蒼史(佐賀工2年)も力及ばず、予選ルートで敗退となりました。昨年に引き続き、クライミングのレベルがかなり上がっており、全国上位の壁を厚く感じました。

女子は、岸川弓子(多久高3年)さん、渡島奈緒(多久高3年)さんも、選手のレベルが上がってきたため、難易度が上がり、予選で敗退しましたが、学校別の団体戦では、2人の選手を輩出している学校が多くないこともあって6位に入賞しました。

成績

男子 靄本 直生(多久高1年)

Aルート 35+ Bルート TOP 8位/102人
準決勝 33+ 10位/27人

中武 凌雅(星生学園2年)

Aルート 25+ Bルート 32+ 38位/102人

中園 龍成(佐賀工1年)

Aルート 23 Bルート 22+ 53位/102人

伊東 蒼史(佐賀工2年)

Aルート 15 Bルート 14.5+ 78位/102人

団体(佐賀工2名の成績による団体戦)

16位/28校

女子 岸川 弓子(多久高3年)

Aルート 13+ Bルート 30 36位/82人

渡島 奈緒(多久高3年)

Aルート 14+ Bルート 25 39位/82人

団体(多久高2名の成績による団体戦)

6位/22校

平成28年度佐賀県高体連登山専門部 佐賀県総合体育大会 課題

1 次の文中の(①)から(⑫)に適語や数字を答えよ。漢字で記入。

今大会は1日目鳥栖市民の森入口集合。ペーパーテスト終了後、縦走特区が実施される。標高差はおよそ(①)mである。2日目は市民の森キャンプ場から車で移動をして、三角点 494.1 m(②)山の登山口にあたる(③)神社まで移動をする。ここから九千部山西の稜線に出て、(④)峠、(⑤)峠、坂本峠を経て蛤岳を登る。途中、史跡蛤水道をとおる。ここは江戸時代に(⑥)が構築した水道で、当時の土木技術における有名な水道である。蛤岳付近には(⑦)岩の大岩が散在している。山頂を過ぎて、西のコルから林道に出て2日目は終了。3日目はフランス人(⑧)の遭難地より、少し下った車道から入る、脊振の自衛隊駐屯地へ上がるコースをとり、脊振山を登る。途中自衛隊の敷地内に(⑨)の像がある。自然歩道を西にとり(⑩)峠先の福岡測候所手前から展望のいい 911.0 m(⑪)、椎原峠、椎原西、を経て、鬼ヶ鼻岩へ登る。振り返ると三日間のコースが見渡せる。5月連休の頃赤紫のコバノ(⑫)が多く咲いていた。椎原西分岐へ戻り、椎原西下四叉路で行動終了となる。

問1 コース上に出てくる地図記号の名称を記入せよ。

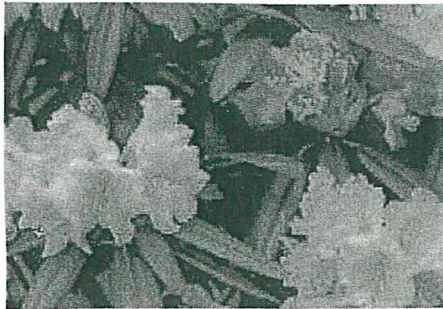
①  ②  ③  ④ 

問2 次に示す①から②は山頂の標高を、③は読み方を答えよ。

① 九千部山 ② 蛤岳 ③ 辰巳谷

問3 次に示す写真はこの山城の天然記念物となっている植物である。名称を答えよ。




① 鬼ヶ鼻付近尾根筋に多い(多良岳は天然記念物) ② 千石山自生地北限



2 設問に答えなさい。

① 九州の百名山、5つ答えよ。

② 次の天気図記号の名称を答えよ。

イ  ロ  ハ 

③ 昨年で百名山、二百名山を踏破した人物名を答えよ。

④ 次に示す登山・気象用語を答えよ。

イ 氷河の侵食によってできた半円形状の広い谷。圏谷ともいう。

ロ 山腹・岩壁を横切ること。

ハ 視界内の雲、風、気温の変化や大気現象を観察して天気を予測すること。

ニ 特に高山帯などで、自分の影が向かい側の雲や霧に映り、その周囲に光の輪が幾重にも見える現象。

⑤ 次の風の状態は風力階級いくつか。

大枝が動く。電線が鳴る。傘はさしにくい。

平成28年度佐賀県高体連登山専門部 佐賀県総合体育大会 課題 解答用紙

1 1は①～⑫は各0.5点 計6点 他は各1点 合計15点

①	②	③		
④	⑤	⑥		
⑦	⑧	⑨		
⑩	⑪	⑫		
問 1	①	②	③	④
問 2	①	②	③	
問 3	①	②		

2 2①は全解1点 他は各1点 計10点

①				
②	イ	ロ	ハ	
③				
④	イ	ロ	ハ	ニ
⑤				

総合計 25点満点

パーティ名	学校名	氏名	点

平成28年度佐賀県高体連登山専門部 佐賀県総合体育大会 課題 解答

1 1は①～⑫は各0.5点 計6点 他は各1点 合計15点

①	640m 誤差±20m		②	城		③	筑紫					
④	三領塚		⑤	七曲		⑥	成富兵庫茂安					
⑦	花崗		⑧	ジャピー		⑨	役行者					
⑩	矢筈		⑪	唐人舞		⑫	ミツバツツジ					
問1	①	記念碑		②	高塔		③	せき		④	自衛隊	
問2	①	847.5m		②	862.8m		③	ぼろめき				
問3	①	ツクシシャクナゲ			②	サザンカ						

2 2①は全解1点 他は各1点 合計10点

①	九重山		阿蘇山		祖母山		霧島					
	開聞岳		宮之浦岳		これより5つ 全解のみ							
②	イ あられ		ロ 霧		ハ みぞれ							
③	田中 陽希 (ようきも可)											
④	イ	カール		ロ	トラバース		ハ	観天望気		ニ	ブロッケン	
⑤	6											

総合計 25点満点 漢字のみ

パーティ名	学校名	氏名	

点

平成28年度佐賀県高等学校総合体育大会登山競技 救急課題

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 次の文章について適する語句を語群から選びその記号を書きなさい。(各0.1点×10)

- (1) 負傷者が意識を失っている場合は、直ちに(①)を確保する。呼吸などがなければ(②)などの心肺蘇生を行う。
- (2) 負傷者に処置を施す場合に便利な言葉に「RICE」がある。Rは(③)、Iは(④)、Cは(⑤)、Eは(⑥)である。
- (3) 登山行動中に熱中症の症状が出た場合には早い段階で次のような処置を講じる。(⑦)を下げる。水分・(⑧)を接種させる。また、負傷者を(⑨)場所に移動させ、(⑩)を拡散させる。

ア)安静 イ)塩分 ウ)熱 エ)疲労 オ)人工呼吸 カ)拳上 キ)気道
ク)圧迫 ケ)涼しい コ)低い サ)糖分 シ)冷却 ス)人工呼吸 セ)体温

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

2. 負傷者が出血し、止血する場合について述べている。文章の()の中に適する語句を解答欄に記入しなさい。(各0.2点×5)

静脈から出血している場合は傷口をきれいな(①)で、洗い流し泥などを落とす。傷口の周囲を(②)する。次に、ガーゼなどを利用して傷口を(③)する。傷口は(④)より高い位置にする。人の血液の量は体重の約(⑤)%といわれている。

①	②	③	④	⑤

3. 虫や蜂に刺された場合の処置について述べている文章の()の中に適する語句を解答欄に記入しなさい。(各0.2点×5)

蜂などが飛んできた場合でも刺激を与えないように追い払ったりしない。また、(⑥)品などの臭いは蜂を刺激しやすい。次に、刺された場合は(⑦)などが残っていればを毛抜きなどで抜き取る。また、(⑧)などを使って毒を吸い出す。薬は抗ヒスタミン剤を含んだ(⑨)軟膏などを塗り患部を(⑩)。

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

4. 次にあげた医薬品などを出しなさい。(各0.5点×4)

- (1) 解熱剤(有効期限内、2人分で2日分)・・・()
- (2) 消毒薬(有効期限内)・・・・・・・・・・・・・・()
- (3) 包帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・()
- (4) 絆創膏(枚数は問わない未開封であればよい)・・・()

平成28年度佐賀県高等学校総合体育大会登山競技 救急課題 解答

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 次の文章について適する語句を語群から選びその記号を書きなさい。(各0.1点×10)

- (1) 負傷者が意識を失っている場合は、直ちに(①)を確保する。呼吸などがなければ(②)などの心肺蘇生を行う。
- (2) 負傷者に処置を施す場合に便利な言葉に「RICE」がある。Rは(③)、Iは(④)、Cは(⑤)、Eは(⑥)である。
- (3) 登山行動中に熱中症の症状が出た場合には早い段階で次のような処置を講じる。(⑦)を下げる。水分・(⑧)を接種させる。また、負傷者を(⑨)場所に移動させ、(⑩)を拡散させる。

ア)安静 イ)塩分 ウ)熱 エ)疲労 オ)人工呼吸 カ)拳上 キ)気道
ク)圧迫 ケ)涼しい コ)低い サ)糖分 シ)冷却 ス)人工呼吸 セ)体温

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
キ	オ	ア	シ	ク	カ	セ	イ	ケ	ウ

2. 負傷者が出血し、止血する場合について述べている。文章の()の中に適する語句を解答欄に記入しなさい。(各0.2点×5)

静脈から出血している場合は傷口をきれいな(①)で、洗い流し泥などを落とす。傷口の周囲を(②)する。次に、ガーゼなどを利用して傷口を(③)する。傷口は(④)より高い位置にする。人の血液の量は体重の約(⑤)%といわれている。

①	②	③	④	⑤
水	消毒	圧迫	心臓	8

3. 虫や蜂に刺された場合の処置について述べている文章の()の中に適する語句を解答欄に記入しなさい。(各0.2点×5)。

蜂などが飛んできた場合でも刺激を与えないように追い払ったりしない。また、(⑥)品などの臭いは蜂を刺激しやすい。次に、刺された場合は(⑦)などが残っていればを毛抜きなどで抜き取る。また、(⑧)などを使って毒を吸い出す。薬は抗ヒスタミン剤を含んだ(⑨)軟膏などを塗り患部を(⑩)。

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
化粧(香水)	毒針(針は可)	吸引器(バキューム)	ステロイド	冷やす(冷却)

4. 次にあげた医薬品などを出しなさい。(各0.5点×4)

- (1) 解熱剤(有効期限内、2人分で2日分)・・・()
- (2) 消毒薬(有効期限内)・・・()
- (3) 包帯・・・()
- (4) 絆創膏(枚数は問わない未開封であればよい)・・・()

平成28年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 自然観察課題

平成28年11月12日(土)実施

1 次の文中の(①)～(⑳)に入る適切な語句を答えなさい。【0.5×22】

今大会は、(①)市(②)町と(③)郡(④)町を主会場として開催される。

1日目は、乳待坊いこいの広場キャンプ場で開始式が行われる。その後ペーパーテスト、昼食の後、縦走が実施される。縦走スタートは、いこいの広場キャンプ場[標高(⑤)m]から、見返峠を経て、(⑥)[標高(⑦)m]へ登頂する。(⑥)の頂上には、(⑧)と呼ばれる岩が露出している。天気が良ければ、全員訪れてほしいところである。その後(⑨)、(⑩)、鬼の岩屋、(⑪)、見返峠を経て、いこいの広場キャンプ場に戻る。いこいの広場キャンプ場では、医療、天気図及び設営審査などが行われ、ここで幕営する。いこいの広場から見える二つの奇岩は、この広場から見て、右側が(⑫)、左側が(⑬)と呼ばれている。

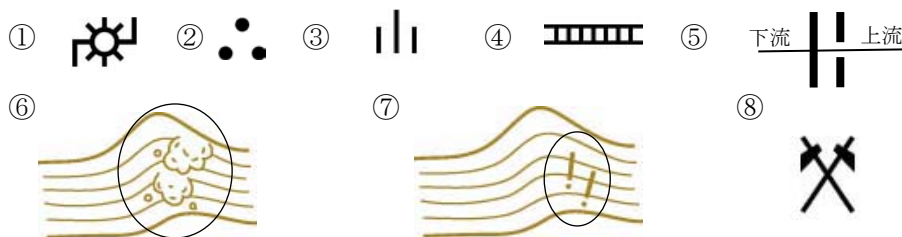
2日目は、(⑭)時に起床し、(⑮)ダム南登山口へ車で移動する。ここから前黒髪、別名(⑯)、(⑰)、見返峠、(⑱)を経て、青牧峠西から(⑲)ダム登山口に下る。(⑱)の北側は(⑳)市(㉑)町と接している。コース中には、天然記念物(㉒)の自生地がある。また、佐賀県のここだけに分布する(㉓)は基本種のウチョウランの変種で、多年生植物である。集塊岩上に生え、高さ10センチほどの花茎に きれんな(㉔)色の花を咲かせる。5月中旬から6月にかけて咲く5、6輪の小ぶりの花が特徴的である。

2 次の問いに答えなさい。【0.5×18】

(1) 次の地名の読みを書きなさい。


- ① 乳待坊 ② 小路 ③ 上原

(2) 次の地図記号の名称を答えなさい。



(3) いこいの広場から見返峠までの途中で、ある歩道と出会うが、何と呼ばれているか。

(4) この山域で最高峰の山の名前とその標高を答えなさい。

(5) いこいの広場から南東方向に  の地図記号があるが、ここでは何が掘り出されるか。

(6) ⑭のダムから流れ、有田町を流れている川は、何と呼ばれているか

(7) 青牧峠から西に向かうと出会う、山の名前と標高を答えなさい。

3 気象についての次の設問に答えなさい。【0.5×5】

(1) 雷は激しい(①)が主な成因となり、発生する。台風とは熱帯地方で発生する低気圧で、中心付近の最大風速が(②)m/sのもの台風という。風は等圧線の間隔が(③)ほど風が強い。

(2) いこいの広場での気温が20℃としたとき、黒髪山山頂の気温はいくらになるか。ただし、気温減率は高度1000mにつき、6.5℃とする。次のうちどれか。

- ア 11.6℃ イ 13.6℃ ウ 15.6℃ エ 17.6℃ オ 19.6℃

(3) そのとき、山頂には風速4m/sの風が吹いているとき、体感温度はどれくらいになるか。ただし、リンケの公式を使って、計算する。次のうちどれか。

- ア 5.6℃ イ 7.6℃ ウ 9.6℃ エ 11.6℃ オ 13.6℃

4 登山用語について次の問いに答えなさい。【0.5×3】

(1) 緊急時の避難路、逃げ道を何というか。

(2) 二つの峰が並び立ち一つの山容を構成している山を何というか。来年の県総体で登る多良岳がそうである。

(3) 吹雪や濃霧で視界がまったく効かなくなり、地面と空との境界のわからなくなってしまう状態を何というか。

平成28年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 自然観察課題 解答例

平成28年11月12日(土)実施

1 【0.5×24】

① 武雄	② 山内	③ 西松浦	④ 有田
⑤ 150	⑥ 黒髪山	⑦ 516	⑧ 天童岩
⑨ 蛇焼山	⑩ 後の平	⑪ 二俣	⑫ 雄岩
⑬ 雌岩	⑭ 5	⑮ 有田	⑯ 本城岳
⑰ 西光密寺	⑱ 青螺山	⑲ 竜門	⑳ 伊万里
㉑ 大川内	㉒ カネコシダ	㉓ クロカミラン	㉔ (薄)紫

2 【0.5×18】

(1) ① ちまちぼう	② <u>くう</u> じ	③ うわ <u>ばる</u>	
(2) ① 発電所	② 史跡・名勝 ・天然記念物	③ 荒地	④ 石段
	⑤ せき	⑥ 岩	⑦ 雨裂
(3) 九州自然歩道	(4) 青螺山	618m	(5) パーライト
(6) 白川川	(7) 牧ノ山	552.4m	

3 【0.5×5】

(1) ① 上昇気流	② 17	③ 狭い	(2) エ	(3) ウ
------------	------	------	-------	-------

4 【0.5×3】

① エスケープルート	② 双耳峰	③ ホワイトアウト
------------	-------	-----------

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/25

平成28年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 自然観察課題

平成28年11月12日(土)実施

1 【0.5×24】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔

2 【0.5×18】

(1)	①	②	じ	③	うわ
(2)	①	②		③	④
	⑤	⑥		⑦	⑧
(3)		(4)			(5)
(6)		(7)			

3 【0.5×5】

(1)	①	②	③	(2)	(3)
-----	---	---	---	-----	-----

4 【0.5×3】

①	②	③
---	---	---

パーティ名	学校名	氏名	得点

平成28年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題(解答例)

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/5

1. 傷病者への初期対応「3SABCDE」がある。「B」と「C」が表す処置

をそれぞれ日本語で書きなさい。【0.3×2】

B	C
呼吸	循環

2. 次の熱中症について、文中の()に適する語句を①については、漢字で書き、②～④については下から語群から選びなさい。【0.3+0.2×3】

中等症と重症の違いは「(①)が正常であるか」が判断基準となる。中等症としては、(②)と熱疲労が考えられるが、無理して分ける必要がない。まず、立ちくらみや(③)などの症状があれば、すぐに日陰に移動し、衣服をゆるめ、(④)を補給することが有効である。

①	②	③	④
意識	ア	ウ	ク

ア, 熱失神	イ, 熱射病	ウ, めまい	エ, 吐き気	オ, 頭痛
カ, クーリング	キ, ABC	ク, 水分塩分	ケ, 冷水	コ, 炭水化物

3. 次の文中の()に適する語句を下から選べ。【0.2×4】

- ・ 傷に行く処置の優先順位は、(①)である。
- ・ 止血法で一番有効な方法は、(②)である。
- ・ 登山中に骨と関節に起こる外傷の内、最も起こるのは、(③)である。
- ・ 高山病の処置として、最も必要な処置は(④)をすることである。
- ・ 熱傷の処置としては、(⑤)を用いて冷やすことである。
- ・ 低体温症の治療は、(⑥)を補給することで、筋肉を動かし熱を生ませる必要がある。

①	②	③	④	⑤	⑥
ア	オ	キ	コ	シ	ク

ア, 止血	イ, 洗浄	ウ, 緊縛法	エ, 止血点の圧迫	オ, 直接圧迫
カ, 骨折	キ, 捻挫	ク, 脱臼	ケ, 薬の服用	コ, 下山
サ, 氷	シ, 飲み水	ス, 炭水化物	セ, 温かいお湯	ク, 水分塩分

4. 登山行動中に足を打撲してしまった。その処置をアルファベット4文字で表される方法で行った。その4文字を答えなさい。【0.3】

R I C E

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

風邪薬 () 胃腸薬 () 三角巾 () テーピング ()

平成28年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/5

1. 傷病者への初期対応「3SABCDE」がある。「B」と「C」が表す処置をそれぞれ日本語で書きなさい。【0.3×2】

B	C

2. 次の熱中症について、文中の（ ）に適する語句を①については、漢字で書き、②～④については下から語群から選びなさい。【0.3+0.2×3】

中等症と重症の違いは「（ ① ）が正常であるか」が判断基準となる。中等症としては、（ ② ）と熱疲労が考えられるが、無理して分ける必要がない。まず、立ちくらみや（ ③ ）などの症状があれば、すぐに日陰に移動し、衣服をゆるめ、（ ④ ）を補給することが有効である。

①	②	③	④

ア, 熱失神	イ, 熱射病	ウ, めまい	エ, 吐き気	オ, 頭痛
カ, クーリング	キ, ABC	ク, 水分塩分	ケ, 冷水	コ, 炭水化物

3. 次の文中の（ ）に適する語句を下から選べ。【0.2×4】

- ・ 傷に行う処置の優先順位は、（ ① ）である。
- ・ 止血法で一番有効な方法は、（ ② ）である。
- ・ 登山中に骨と関節に起こる外傷の内、最も起こるのは、（ ③ ）である。
- ・ 高山病の処置として、最も必要な処置は（ ④ ）をすることである。
- ・ 熱傷の処置としては、（ ⑤ ）を用いて冷やすことである。
- ・ 低体温症の治療は、（ ⑥ ）を補給することで、筋肉を動かし熱を生ませる必要がある。

①	②	③	④	⑤	⑥

ア, 止血	イ, 洗浄	ウ, 緊縛法	エ, 止血点の圧迫	オ, 直接圧迫
カ, 骨折	キ, 捻挫	ク, 脱臼	ケ, 薬の服用	コ, 下山
サ, 氷	シ, 飲み水	ス, 炭水化物	セ, 温かいお湯	ソ, 水分塩分

4. 登山行動中に足を打撲してしまった。その処置をアルファベット4文字で表される方法で行った。その4文字を答えなさい。【0.3】

--

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

風邪薬 () 胃腸薬 () 三角巾 () テーピング ()